令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月31日

協議会名： 都留市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
富士急バス株式会社	都留市循環線 都留市立病院～都留市駅 谷村・三吉地域	新たな公共交通のあり方について事業者と打ち合わせを重ね、AIデマンド交通の実証実験について協議を行った。実験では大学生も主なターゲットとして周知活動を積極的に行った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	年間利用者目標数13,240人に対し、9,501人であった。	利用者が少ない現状である既存公共交通に代わる新たな交通形態について、事業者と連携して積極的に検討を行う。
富士急山梨ハイヤー株式会社	東桂線 東桂・谷村地域	新たな公共交通のあり方について事業者と打ち合わせを重ね、AIデマンド交通の実証実験について協議を行った。実験では大学生も主なターゲットとして周知活動を積極的に行った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	1台あたりの平均乗車人数の目標1.8人に対し、1.2人であった。	新たな交通形態について、事業者と連携して積極的に検討を行い、空白地帯への導入も視野に入れた検討を行う。
富士急山梨ハイヤー株式会社	盛里線 禾生・盛里地域	新たな公共交通のあり方について事業者と打ち合わせを重ね、AIデマンド交通の実証実験について協議を行った。実験では大学生も主なターゲットとして周知活動を積極的に行った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	1台あたりの平均乗車人数の目標1.8人に対し、1.1人であった。	新たな交通形態について、事業者と連携して積極的に検討を行い、空白地帯への導入も視野に入れた検討を行う。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	免許証返納者（65歳以上）に対し、運転免許の自主返納及び公共交通の利用促進を行うなどの取組は評価できるが、利用者数および平均乗車人数の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和 6年 1月 9 日

協議会名： 中央市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
山梨交通株式会社 「中央市役所本館～シルクふれんどりぃ線」	「中央市役所本館～JR小井川駅～山梨大学医学部附属病院～中央市役所玉穂支所～JR東花輪駅～中央市役所豊富支所～シルクふれんどりぃ」間を運行	【事業評価結果(助言)】 アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、一時中断された利用促進に関するイベント等の実施（再開） 【反映状況】 感染症対策を継続実施し、利用者への不安解消に努めた。 イベントにおける車両展示や乗車体験などの啓発活動を再開し、利用促進を図った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	目標値10,000人に対して約85%の達成率となり、目標達成に至らなかった。 【原因】 新型コロナウィルスなどの影響によるバス利用者数の変動や、生活様式の変化、利用者の固定化等により結果的には前年度と同等程度の利用者数となった。 【効果】 利用実態から、高齢者を中心とした自身で交通手段を有さない交通弱者の日々の通院・買い物等生活に密着した移動手段となっている。またJR身延線の東花輪駅、小井川駅、幹線系統へ接続する交通手段として機能している。	令和5年度末に策定予定である市公共交通計画において、地域間及び地域内交通の充実を重要施策に位置付けており、本事業についても市民ニーズを意識した利便性の向上や、本市にふさわしい事業の在り方を検討していく。 イベントにおける啓発活動や、転入者への時刻表配布、小中学生のコンクール入賞作品の車内掲示を行うなど、継続した利用促進を図る。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	イベントにおける車両展示や乗車体験などによる啓発活動などの取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月22日

協議会名： 笛吹市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
事業者：石和タクシー㈱ 運行系統：笛吹市デマンドタクシーみさかルート	御坂町若宮地区（旧若宮公民館）～石和町駅前地区（JR石和温泉駅）	・前年度の二次評価では、「地域」と「事業者」と「行政」の三者で役割分担を行い、地域（住民・利用者）が主体的に関与する仕組みの構築や、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、（一度中断された）利用促進に関するイベント等を再開（実施）できるよう、行政からもバックアップすることについて指摘されている。指摘を含めた抜本的な交通網の見直しを行うべく、笛吹市公共交通再編事業として、次年度の計画に反映している。	A	●事業が計画に位置づけられたとおりに実施されている。 ・欠便や大きな遅延もなく、運行計画に沿った適切な事業が行われた。 ・情報提供については、若者の利用者増を目的として、山梨県と連携し、運行地域の高校1年生を対象に、利用ガイドの配布・周知を実施した。また、事業者とともに、車両への利用ガイドの設置や、利用者への活用案内等を実施した。 ・設定した事業だけでなく、前年度の二次評価結果を反映した取り組みとして、山梨県作業療法士会との懇談会を開催し、けが等によりリハビリを受けた患者に対する交通手段の確保のための利用について、意見交換、情報提供を実施した。	A	●事業が計画に位置付けられた目標を達成できた。 ■1日あたり目標乗車人数8.5人に対し、8.7人（前年度7.4人） ■目標収支率6.0%に対し、7.8%（前年度6.2%） ・乗車人数、収支率ともに、目標を達成できた。特に、収支率については、1%以上の増加させることができた。 ・引き続き、事業者とともに活用案内等を行い、利用頻度を増加させる取り組みを行う。	前年度の二次評価から、市民を巻き込んだ公共交通に対する取り組みの実施が必要と捉え、高齢者の介護教室などが再開されつつあることから、行政としても積極的に情報提供の活動や、使い方教室の開催、公共交通に対する意見交換会などを行い、市民が主体的に公共交通に係わることができる場の提供を進めていきたい。 また、設定した目標に対し、みさかルートは達成することができたが、ふじみルートについては、達成できない状況にあり、上記のようなイベントを活用し、利用者を増やすための事業実施について、内容を含めた検討を行い、収支率の改善にも努めたい。
事業者：日之出観光自動車㈱ 運行系統：笛吹市デマンドタクシーふじみルート	石和町富士見地区（河内公民館）～石和町駅前地区（JR石和温泉駅）～石和町山岸地区（山岸公民館）				C	●事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 ■1日あたり目標乗車人数15.4人に対し、13.4人（前年度12.7人） ■目標収支率13.1%に対し、8.3%（前年度7.7%） ・前年度実績からは増加したものの、乗車人数、収支率ともに、目標を達成できなかった。 ・引き続き、事業者とともに活用案内等を行い、利用頻度を増加させる取り組みを行う。	

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	利用ガイドの配布・周知により、目標を達成されている系統がある点や、作業療法士会との懇談会の開催など他分野との連携は評価するが、乗車人数および収支率の目標は未達成となった。引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月19　日

協議会名： 上野原市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
有限会社駅前タクシー	第1.1地域 （桐原方面）	※令和5年2月28日の評価結果を踏まえ、計画等に反映した内容を記載 ◆市内の環境変化に伴い、新しい停留所の増設等を行い、利便性の向上に務めた。 ◆利用実態のデータ収集・分析を継続実施 ◆データを基に利便性向上策の検討及びPR等を実施（回覧・広報）	◆利用者数：1,597人／年 ：6.55人／日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。	【目標】 ◆新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度と令和4年度を比較し、その減少率に応じて令和4年度をベースに5%～10%増を目標値とする。 【達成状況】 ◆すべての系統において未達成であった。 〇第1.1地域(桐原) 目標7.93人　実績6.55人 〇第1.2地域(西原) 目標8.81人　実績7.72人 〇第2地域(大鶴・甲東) 目標8.14人　実績6.28人 〇第3地域(大目・巌) 目標13.66人　実績13.27人 〇第4地域(島田・秋山) 目標10.45人　実績9.29人 〇全地域 目標48.99人　実績42.63人 【分析】 ◆利用方法等を掲載したチラシの回覧、停留所の変更等啓発活動や利便性を高める取組を実施し、利用者の増加を図ったが、令和4年度に引き続き利用者の利用回復には至っていないのが現状である。年間利用者は、昨年よりも減少しており、運行開始以降で最も低い利用率となっている。また、上野原市内の高齢者の人口は減少傾向にあるため、利用回復は難しいが今後もPR等の情報発信を継続していく。	◆新型コロナウイルスは終息し始めているが、上野原市内は高齢者の人口は年々減少しているため、急激な利用者の増加は見込み難い。 今後も事業のPR等の実施を継続していくとともに市民の要望に添った事業にするためにも関係事業者との協議も続けていく。
上野原タクシー株式会社	第1.2地域 （西原方面）		◆利用者数：1,887人／年 ：7.72人／日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。		
富士急バス株式会社	第2地域 （大鶴・甲東方面）		◆利用者数：1,528人／年 ：6.28人／日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。		
有限会社四方津交通	第3地域 （大目・巌方面）		◆利用者数：3,243人／年 ：13.27人／日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。		
有限会社島田交通	第4地域 （島田・秋山方面）		◆利用者数：2,152人／年 ：8.81人／日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。		

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	停留所の増設や利用実態のデータ分析を基にした利便性向上策の実施などの取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月24日

協議会名： 甲州市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
甲州タクシー(株)	甲州市塩山地域（松里・玉宮・共通（市街地）エリア）を運行	・利用者の変容等の確認。利用状況集計を実施した。 ・昨年度実施した利用実態調査を分析し、運行形態の見直しを検討している。 ・運転免許自主返納支援事業を通じ、窓口に来られた方に対して、デマンドの内容や利便性について説明するように努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C	利用者数 【区域】　【目標】　【実績】 松里エリア　16人／日　10人／日 玉宮エリア　14人／日　9人／日 共通エリア　17人／日　13人／日	・目標は未達となったが、運転免許を返納した高齢の方中心に利用者数は増加傾向。今後も高齢者をターゲットとし、広報やチラシ・HPによるPR、利用方法の説明会を開催するなど、利用者増加に向け取り組んでいく必要がある。 ・現在の利用状況を踏まえ、効率の良い運行方式を、事業者・関係団体と連携を図る中検討する。
塩山タクシー(株)	甲州市塩山地域（神金・共通（市街地）エリア）を運行 ※R4年10月1日～R5年5月31日	・利用者の変容等の確認。利用状況集計を実施した。 ・昨年度実施した利用実態調査を分析し、運行形態の見直しを検討している。 ・運転免許自主返納支援事業を通じ、窓口に来られた方に対して、デマンドの内容や利便性について説明するように努めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	利用者数 【区域】　【目標】　【実績】 神金エリア　13人／日　16人／日 共通エリア　13人／日　12人／日	・目標は一部未達となったが、運転免許を返納した高齢の方中心に利用者数は増加傾向。今後も高齢者をターゲットとし、広報やチラシ・HPによるPR、利用方法の説明会を開催するなど、利用者増加に向け取り組んでいく必要がある。 ・現在の利用状況を踏まえ、効率の良い運行方式を、事業者・関係団体と連携を図る中検討する。
山梨交通(株)	甲州市塩山地域（神金・共通（市街地）エリア）を運行 ※R5年6月1日～R5年9月30日		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。			

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	運転免許自主返納支援事業を通じた利用促進策の実施などの取組により利用者数の目標を達成されたエリアがある点は評価できるが、多くのエリアにおいて利用者数の目標は未達成となった。引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月30日

協議会名： 富士川町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
有限会社青柳タクシー	小室エリア（路線定期運行） いきいきかん～南小前	アンケートにより利用者の要望を把握し、運行実績と合わせて、運行時間や便数等の見直しを検討した。また、役場窓口等において路線運行の利便性や安全性の周知に努めた。	A	計画通り事業を実施した。	C	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績61.7人/日・満足度95.0%は目標未達成。	利用実績の向上に向け、広報誌やチラシ等による周知を行うとともに、利便性を高めるため運行時間や便数の検討を行う。
有限会社青柳タクシー	小室エリア（区域運行） 増穂地区	高齢者向け行事などの際にデマンド交通の制度や利用方法の周知を行った。福祉部門と連携し、交通弱者の把握とデマンド交通の利用促進を進めた。	A	計画通り事業を実施した。	C	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績61.7人/日・満足度95.0%は目標未達成。	利用実績の向上に向け、広報誌やチラシ等による周知で新規登録者の拡大を図るとともに、利便性を高めるため運行時間や便数の検討を行う。
有限会社豊栄タクシー	平林エリア（路線定期運行） いきいきかん～平林	アンケートにより利用者の要望を把握し、運行実績と合わせて、運行時間や便数等の見直しを検討した。また、役場窓口等において路線運行の利便性や安全性の周知に努めた。	A	計画通り事業を実施した。	C	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績61.7人/日・満足度95.0%は目標未達成。	利用実績の向上に向け、広報誌やチラシ等による周知を行うとともに、利便性を高めるため運行時間や便数の検討を行う。
有限会社豊栄タクシー	平林エリア（区域運行） 増穂地区	高齢者向け行事などの際にデマンド交通の制度や利用方法の周知を行った。福祉部門と連携し、交通弱者の把握とデマンド交通の利用促進を進めた。	A	計画通り事業を実施した。	C	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績61.7人/日・満足度95.0%は目標未達成。	利用実績の向上に向け、広報誌やチラシ等による周知で新規登録者の拡大を図るとともに、利便性を高めるため運行時間や便数の検討を行う。
有限会社鰍沢タクシー	十谷エリア（区域運行） 鰍沢地区	アンケートにより利用者の要望を把握し、運行実績と合わせて、運行時間や便数等の見直しを検討した。また、役場窓口等において路線運行の利便性や安全性の周知に努めた。	A	計画通り事業を実施した。	C	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績61.7人/日・満足度95.0%は目標未達成。	利用実績の向上に向け、広報誌やチラシ等による周知を行うとともに、利便性を高めるため運行時間や便数の検討を行う。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	福祉部門と連携した利用促進策の実施などの取組は評価できるが、利用者数および満足度の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和　6年　1月　29日

協議会名：　身延町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：　地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
山梨交通㈱ ㈱身延タクシー ㈲中富タクシー	・運行区域 身延地区 下部地区 中富地区 一部町外（市川三郷町岩間）	前回、未達成の項目を中心に目標を設定		計画通り、適切に実施された。		・乗合タクシー利用者数 目標：18000人 結果：15504人 新型コロナウイルス感染防止のため外出を自粛する利用者がいたと思われる。 目標は達成できなかったが、町内の人口が減少しているなか利用者数の大きな減少はないため、地域の足として定着していると考える。	・民間路線バス、町営バス等と連携し、より利用しやすい公共交通を目指す必要がある。 ・住民に運行目的、利用方法等をより一層理解してもらうため、広報等を充実させる必要がある。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	高齢者運転免許証自主返納支援事業を活用した利用促進策の実施や、高齢者のデイサービスに出向いての周知などの取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月26日

協議会名： 南アルプス市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

<table>
<tr><th>①運行事業者</th><th>②事業概要</th><th>③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況</th><th colspan="2">④事業実施の適切性</th><th colspan="2">⑤目標・効果達成状況</th><th>⑥事業の今後の改善点
（特記事項を含む）</th></tr>
<tr><td>山梨交通株式会社</td><td>1号車　芦安線
市立美術館～徳洲会病院～白根支所～御勅使～芦安</td><td rowspan="3">電話や窓口で問合せがあった際にバスの乗り方、時刻表の見方を周知する説明を行った。また体験乗車を行い利用者の増加を促進するための取り組みを行った。</td><td>A</td><td rowspan="3">計画どおり事業は適切に実施された。</td><td>A</td><td rowspan="3">年間利用数33,861人で、目標人数の31,286人を上回った。
市民や利用者の意見・要望を取り入れ、時刻変更を行った成果が利用の増加に繋がった。</td><td rowspan="3">バスの乗り方、時刻表の見方が分からない市民が多いため、今後も継続的にバスの乗り方、時刻表の見方を周知する説明会や体験乗車等の広報活動を行う必要がある。</td></tr>
<tr><td>山梨交通株式会社</td><td>2号車　八田・白根線
市立美術館～白根支所～徳洲会病院～白根Aコープ～八田支所～樹園</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>山梨交通株式会社</td><td>3号車　若草・甲西線
市立美術館～藤田～やまなみの湯～甲西Aコープ～甲西支所～秋山～市立美術館</td><td>A</td><td>A</td></tr>
</table>

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	体験乗車や車体広告の掲出等に取り組まれ、年間利用者数の目標を達成されたことを評価する。引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月29日

協議会名： 甲府市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
富士急バス株式会社	「上九一色・中道地区コミュニティバス線」 古関町～市立甲府病院経由～南甲府駅 上九一色出張所～市立甲府病院経由～南甲府駅	「路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応していただきたい」という評価結果を受け、地区住民の高齢化等により長距離の歩行が困難な方も利用できるよう、運行経路の一部延伸とバス停の新設を行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C	事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった 目標：①1回当たりの利用者数4.2人以上、②年間利用者数4,200人以上、③フィーダー系統の1回当たりの利用者数3.5人以上、④フィーダー系統の年間利用者数2,000人以上 実績：①2.8人、②2,981人、③2.2人、④1,281人 分析：高い努力目標として設定したが、地区人口が減少していることやコロナ禍を経てライフスタイルが変容していることが影響したと考えられる。	・コミュニティバスの利用状況を踏まえた運行計画の適正化について検討を行う。 ・引き続きバス利用者が商品割引サービスを受けられるよう、「バス利用お買物手形事業」の継続に向けて関係各所との調整を行うとともに、更なる周知・PRを行い、利用者の増加を目指す。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	運行経路の見直し等による利便性の向上や、バス利用お買物手形事業やマイバス・鉄道時刻表事業といった利用促進策の実施などの取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

別添1

令和5年度　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月29日

協議会名：　韮崎市地域公共交通会議

評価対象事業名：　地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
有限会社　韮崎タクシー	運行系統：竜岡線 （韮崎市立病院～韮崎駅～竜岡公民館） 【車両減価償却費等国庫補助金】	新たな利用者の獲得及び利便性の向上を目的に、利用者アンケートや事業者へのヒアリングを行う等、現状の見直しに努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された	A	新型コロナウイルスの影響を受け、目標値である運行1回当たりの乗車人数２．９人/回に対して、実績値は3．７人/回となり目標を上回った。	利用者ニーズに即した公共交通実現のため、デマンド交通等新たな運行手法の導入を検討する。
地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	広報誌での周知や利用者アンケートに基づく利用者ニーズの把握に取り組まれ、乗車人数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。						